

小松市立図書館「森のとしよかん」 おはなし会に参加しました。

2017年10月22日(日)



当日は台風21号がやってくるという、あいにくの風雨の中でしたが、小松市立図書館よりお話しがあり、幼児対象に絵本の読み聞かせを行う「おはなし会」に、図書委員と希望者で参加しました。本来は芦城公園で行う予定でしたが、雨天のため図書館内での実施となりました。悪天候のため、たくさんの、とは言いがたいですが、それにも関わらず集まった子どもたちは、どの子も熱心に耳を傾けて聞いてくれました。

使用した絵本は次のものです。



初めは、『けちやっぶれっしゃ』（ザ・キャビンカンパニー作/すずき出版）。次に『おつきみうさぎ』（中川ひろたか作/ピーマン村の絵本たち）、『ノラネコぐんだんきしゃぽっぽ』（工藤ノリコ作/白泉社）と続け、途中で、題名を隠して内容を紹介し、子どもたちに聴きたい絵本を選んでもらいました。

聴きたい第1位は『バレエをおどる犬なんていない』（アンナ=ケンプ作、かどのえいこ訳/BL出版）。その他『がまんのケーキ』（かがくいひろし作/教育画劇）、『てのりにんじゃ』（小林賢太郎作/ひさかたチャイルド）、最後の『さつまのおいも』（中川ひろたか作/ピーマン村の絵本たち）は寸劇風に。



さわやかな風を感じながら、公園の「おはなしテント」で予定どおりに実施できれば最高でしたが……（お天気は仕方ない）。

「読み聞かせ」の活動を通じて生徒たちも、小さい子どもたち相手だからこそ、いっそう相手に伝えようとする力、表現力やプレゼンテーション力の大きさが感じられたようでした。

